

キルギス共和国概要

2025年10月
(一社)ROTOBO

1. 基本情報

(1) 地勢：旧ソ連中央アジアの南東部に位置し、北部国境をカザフスタン、南をタジキスタン、西をウズベキスタン、東を中国に接する。天山山脈に連なる高地が国土の80%を占める山地国家。



(2) 面積：19万9,900km²（日本の約半分）

(3) 人口：716万人（2024年1月初現在）

(4) 首都：ビシュケク市（116.6万人/2024年初）

(5) 主要都市：オシ（37万人）、マナス（旧ジャラル・アバド）（13万人）、カラコル（8万人）（2024年初）。



(6) 民族：キルギス人（77.8%）、ウズベク人（14.2%）、ロシア人（3.8%）、ドゥンガン人（1.0%）、ウイグル人（0.5%）、タジク人（0.9%）など（2024年初）。

(7) 言語：キルギス語（チュルク語系の言語）。ただし、ロシア語も広範に使用される。

(8) 宗教：キルギス人、ウズベク人はイスラム教スンニ派、ロシア人はキリスト教のロシア正教。

◆データ出所は特に断りのない限りキルギス国家統計委員会。/

2. 政治情勢

(1) 略史

キルギス人は6世紀頃までシベリアのバイカル湖周辺に居住していた。7世紀以降、現在のキルギス領へ移動し、8世紀にはウイグル帝国、13世紀にはモンゴル帝国、18世紀半ばには清朝、19世紀前半にはコーカンド汗国の支配下にあった。

19世紀後半にはロシア帝国の支配下に入り、1917年のロシア革命後にはソ連に組み込まれ、1936年にソ連を構成するキルギス・ソビエト社会主義共和国となる。1991年12月のソ連崩壊とともに初めて独立し、キルギス共和国となる。

(2) 独立後

初代大統領のアカエフは、独立後、いち早く民主化と市場経済化に取り組み、西側からの評価も高かった。しかし、徐々に強権化や汚職等により、大部分が貧困にある国民の不満を買うようになり、2005年3月の議会選挙の不正問題をきっかけに暴動が発生、アカエフ大統領はロシアへ亡命、反アカエフ派の中心人物のバキエフ元首相が新大統領に就任した。

だが、バキエフ政権下でも政情は安定せず、2010年4月、再び政変が起こり（暴動による死者86名）、バキエフ大統領が失脚し、オトゥンバエヴァ元外相が暫定政府議長に就任。同年6月、議院内閣制を定めた新憲法の是非とオトゥンバエヴァ移行期大統領の信任を問う国民投票が実施され、翌7月に同氏が就任。新憲法下で行われた2011年10月の大統領選

拳では、前首相のアタムバエフ氏が勝利し、12月大統領に就任した。2017年10月にアタムバエフ大統領の任期満了に伴う大統領選挙が実施され、ジェエンベコフ候補（前職：首相）が当選、同年11月24日に大統領に就任した。

しかし2020年10月の議会選挙不正を発端に騒乱が発生、同選挙の無効化が決定し政権が崩壊するとまもなくジェエンベコフ大統領が辞任を表明し、野党指導者のジャパロフ氏が大統領代行に就任した。2021年1月10日の大統領選挙を経て正式に同氏が大統領に就任した。

（3）大統領

S. ジャパロフ（ZHAPAROV, Sadyr Nurgojoyevich）：1968年12月6日キルギス共和国イシク・クリ州生。1991年キルギス国立体育大学卒業。2006年キルギス・ロシア・スラヴ大学法学部卒業。石油会社「ヌルネフチェガス」社長、大統領顧問、汚職対策国家庁長官などをこれまで歴任。2021年1月に大統領就任。

3. 経済状況

（1）経済水準

（イ）GDP（2024年）：174.8億ドル（世界銀行）

（ロ）国民1人当たりGDP（2024年）：2,419.3ドル（世界銀行）

（ハ）1人あたり名目平均月額給与（2023年）：359.8ドル（CIS統計委員会）

（2）主要産業・輸出品

（イ）主要産業：農業（牧畜、綿花）、金採掘、水力発電、軽工業（繊維工業など）。

（ロ）主要輸出品：非鉄金属・貴金属（金など）、繊維製品、農産物加工品、畜産品、電力。

（3）経済指標（前年比増減率、％）

キルギスの主要経済指標（CIS 統計委員会）

（前年同期比実質増減率、％）

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025 1-9月*
国内総生産（GDP）	4.6	▲7.1	5.5	9.0	9.0	9.0	10.0
鉱工業生産	6.9	▲6.6	9.0	11.4	2.7	5.5	10.2
農林水産業生産	2.6	1.0	▲4.8	7.3	0.6	6.3	0.9
固定資本投資	5.9	▲24.3	▲6.2	4.0	29.2	24.8	18.8
商品小売販売高	5	▲17	16	12	14	14.6	...
インフレ率（消費者物価指数）	1.1	6.3	11.9	13.9	10.8	5.0	5.5**

（注）*出所はキルギス統計国会委員会。**9月の対前年12月比。

4. 対外関係

（1）貿易（キルギス国家統計委員会）

（イ）貿易額

輸出（2024年）：51億4,170万ドル（対前年比51.9%増）。

輸入（2024年）：124億8,930万ドル（対前年比0.2%減）。

(ロ) 主要貿易国 (カッコ内は構成比)

輸出 (2024年) : ①英国 (23.6%)、②スイス (22.7%)、③ロシア (22.4%)、
④カザフスタン (9.6%)、⑤ウズベキスタン (6.7%)

輸入 (2024年) : ①中国 (43.7%)、②ロシア (21.9%)、③カザフスタン (7.8%)、
④ウズベキスタン (4.0%)、⑤韓国 (3.5%)

(2) 日本との関係

(イ) 2023年度までの日本の対キルギス累計援助額は有償、無償、技術協力あわせ約1,001.49億円。無償資金協力 (387.64億円) の方が円借款 (375.80億円) より多いのが特徴。2022年の単年度支出額ベースでは、日本の協力額 (279.2万ドル) は主要ドナー中、米国、ドイツに次いで第3位を占める。 (外務省「政府開発援助 (ODA) 国別データ集2024」より)

(ロ) 日本との貿易 (日本国財務省貿易統計をもとにドル換算)

日本の輸出 (2024年) : 4,451.2万ドル (原動機、タイヤ類、自動車部品、中古車等)

日本の輸入 (2024年) : 180.2万ドル (電気機器、はちみつ等)

(ハ) 二国間条約

2004年10月 日・キルギス技術協力協定署名。

(ニ) 在留邦人数 (2024年10月) : 134人

(ホ) 在日当該国人数 (2024年12月) : 932人

◆データ出所 : (ハ) ~ (ホ) は日本国外務省ウェブサイト。(ホ) の現出所は法務省。